

	<p style="text-align: center;">練馬区独立 70 周年記念事業</p> <p style="text-align: center;">豪華絢爛な時代絵巻「^{てるひめ}照姫まつり」の 主役3役が決定！</p>
<p>と き</p>	<p>2月6日(月)発表</p>
<p>と ころ</p>	<p>練馬区役所(豊玉北六丁目)</p>
<p>4月23日に開催する第30回照姫まつりの主役3役が決定した。2月5日、練馬区役所(豊玉北6丁目)で第30回照姫まつりの主役3役を決めるオーディションが行われ、30代目となる照姫の座には、区内在住の高校2年生、木下綾乃(きのしたあやの)さんが、12名の候補者の中から、スピーチや演技などの審査を経て選ばれた。木下さんは「観に来てくれたみなさんに喜んでもらえるような演技をしたい。」と照姫を演じる決意を語ってくれた。豊島泰経役には、橋坂一樹(はしわかかずき)さん、奥方役には、佐藤亜希子(さとうあきこ)さんが選ばれた。</p> <p>同まつりは、4月23日(日)に都立石神井公園とその周辺で開催する。</p> <p>また当日は、練馬区独立70周年記念事業として、区民参加型の合戦イベントや歴史、伝統を楽しむイベントを実施し、まつりを盛り上げる。</p>	



▲今年の主役3役

【照姫まつりとは】

照姫まつりは、室町時代の石神井城主豊島泰経とその娘「照姫」にまつわるまつり。照姫は、室町時代中期に石神井城を本拠地とし、栄華を極めていた豊島泰経(としま やすつね)公の娘として語り継がれている。戦乱の中、泰経公は宿敵太田道灌(おおた どうかん)に攻め滅ぼされ、現在の石神井公園にある三宝寺池に飛び込んだ。愛娘の照姫は、泰経公の最期をみると悲しみのあまり自らも池に身を投げ、命を絶ったと言われている。



【最大の見どころは「照姫行列」】

照姫まつり最大の見どころは、照姫、泰経公、奥方を中心に、華やかな衣装の照姫や勇ましい武者にふんした約100人が石神井公園周辺を練り歩く照姫行列。石神井公園内の野外ステージで行われる出陣式は、泰経公の掛け声で家臣たちが「エイエイオー！」という勇ましい鬨(とき)の声をあげる様子や、照姫や奥方等の美しい舞に会場は大いに盛り上がる。



▲昨年の照姫まつりの様子

【練馬区独立70周年記念イベントの実施】

練馬区独立70周年を記念して、区民参加型の合戦イベントを実施する。また、歴史や伝統を楽しむイベントの実施を予定している。



▲合戦イベントのイメージ